

対話集会「新未来セッションNEO・2022」の開催結果概要について

1 開催内容

・ 東部圏域

日 時：令和4年6月22日（水）午後4時から6時まで

参加者：社会人4名，高校生11名，大学生4名，未知への挑戦推進部会5名

・ 南部圏域

日 時：令和4年6月29日（水）午後4時から6時まで

参加者：社会人4名，高校生11名，大学生4名，未知への挑戦推進部会4名

・ 西部圏域

日 時：令和4年6月17日（金）午後4時から6時まで

参加者：社会人4名，高校生10名，大学生4名，未知への挑戦推進部会5名

2 主な意見

● 徳島の好きなおところ

- ・ 自然が豊かで身近にあり、水・空気がきれい（自然を活かしたアクティビティ）
- ・ 文化・伝統
（阿波おどり、人形浄瑠璃、うだつの町並み、渡し船、方言、徳島駅伝）
- ・ 食べ物がおいしい
- ・ ゆっくり生活ができ、静か
- ・ 災害に強い
- ・ のびのび子育てができる環境（大きな公園、助けてもらえる環境）
- ・ 地域の方々の温かさ（お接待などのおもてなし精神）
- ・ 先進的な取組（消費者教育、上勝町のゼロ・ウェイスト宣言、eスポーツ）
- ・ GIGAスクール環境やインターネット環境が整っている（サテライトオフィス）
- ・ 県外（関西）へのアクセスがしやすい
- ・ 有名人（三好長慶、瀬戸内寂聴、米津玄師など）

● 徳島の良くなって欲しいところ

- ・ 交通機関の充実、道路整備、交通マナー向上
（自動車やバスの本数が少ない、車がないと不便）
- ・ 進学先・就職先の充実
- ・ 情報発信力・知名度向上
（現状が見えづらい、ストーリー、DMV、マチ☆アソビ）
- ・ 地域の活性化（徳島駅前、商店街、娯楽施設、宿泊施設、商業施設）
- ・ 少子高齢化・過疎化の対策
- ・ 多種多様な経験の機会（長期インターン、住んで働いてもらう機会）
- ・ イベントホールやスポーツ施設の整備
- ・ 地域内の交流、地域間や官民での連携・協働
- ・ 防災意識の向上
- ・ 不動産の選択肢の充実

●若者が住み続けたい「徳島の未来像」とその実現のために「取り組むべきこと」

班 (圏域)	若者が住み続けたい 徳島の未来像	実現方策
高校生 (東部)	進学先の選択肢を増やすなど県外から若者が集まる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関を増やす ・企業を誘致し、働く場所を増やす
	若者が多く活気あふれる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・マチ☆アソビなど特色のあるイベントを活かして徳島をPR ・SNSを活用して徳島の魅力を発信(映えスポットやお菓子など)
	高齢者と若者が助け合いながら生き生きと過ごすことのできる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者がそれぞれの得意分野を教え合い、交流するイベントをアットホームな場所(学校や空き家、空き店舗)などで実施
	老若男女が楽しめる娯楽施設が観光スポットが充実し、町全体が楽しく活気あふれている徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・有名企業の誘致、徳島に必要な企業について県民から意見を集める ・移住したり起業者にとっては暮らしやすい環境 ・近年は徳島に遊びに来る若者が多いためその人たちを応援する企画や補助 ・県民も徳島の最新の情報をもっと取り込む
	自分がやりたいことをできる限り続けることができるサポートや取り組み場所がある社会	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの市でPRしたり、交流会などをして、町をおこしていく
	SDGs目標「住み続けられるまちづくり」のような誰もが安心して使いやすい持続可能な徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークや在宅勤務の促進 ・子どもから高齢者までがあふれる施設の設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や料金を気にすることなく、自由に県内を移動することができる ・今の安心をいつまでも守ることのできる社会を持続できるようにする ・自然や伝統・人のつながりをこれから先も残していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関だけではなく、観光業などに協力してもらい、交通弱者を救って欲しい ・徳島の良いところを巡ってみる
	県内全域に商業施設や文化施設などが充実している徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・新ホールをコンサートの開催だけでなく、地元の人が気軽に集まることができ、幅広い年齢の人たちが交流できるような場所とする(映えスポットをつくる) ・空き店舗や空き屋を活用し、みんなが集うことのできる場所をつくる
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスが行き届き、住民に寄り添ったまちづくりが進められている ・大型商業施設だけでなく、商店街にも人が行き交っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民一人ひとりが徳島についてよく知る ・県民が意見をしやすいような制度・環境づくり
県下でエシカル消費が盛んな徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ機会を増やすため、高校生が主催するイベントを実施 ・学んだ後には、実際に商品化までを体験 	
大学生 (東部)	地域間のコミュニティがしっかりして安心して子育てができる地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流プログラムが増えるといい
	子育て家庭が安心して過ごせる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・県、地域が積極的に子育てにアプローチする ・地域コミュニティ、ネットワークを密にするような取組 →イベント、集まれる場所
	若者が徳島にいたいと思いつける地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の長所(LED、渦潮、阿波おどり)を生かしたたまちづくりにより、雇用、産業、観光が集まる
	小さい頃過ごした農山村の暮らし方が続いて欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を始めやすいサポート →土作りや農業をしたい人と農家をつなぐ仕組みのサポート

大学生 (東部)	子育て・教育への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での教育 ・子育て支援に関するわかりやすい情報の発信 ・一人ひとりが故郷を感じられる取組 ・学校の授業の中で農業と連携する
	若者が楽しめる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の中で楽しめる施設を増やす ・ちょっとしたイベントを増やす ・施設やアクセスなどの情報を充実させる ・インスタを使った情報配信、口コミ
社会人 (東部)	学校に行かなくてもいい徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に学べて、自分で決定できる(大人と子どもの信頼関係) ・GIGAスクールタブレットの改善(性能、使用制限(使用時間帯)) ・県外から見ると自然は良いが、教育の選択肢が少ないのでDXで学びの選択肢を増やす ・徳島での教育のメリット(偏差値教育だけではない、徳島でしか学べないこと)を打ち出す
	戻りたくなる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地元で多様な働き方をしていることを発信 ・県外で頑張る人を応援する施策を行い、そこから帰ってきてもらうような施策 ・県外から見ると自然は良いが、教育の選択肢が少ないのでDXで学びの選択肢を増やす(再掲) ・徳島での教育のメリット(偏差値教育だけではない、徳島でしか学べないこと)を打ち出す(再掲) (事例)香川は東京に県人寮があり、そこに住むのが良いという感じになっており、上京しても関係性を継続(料金も安く、管理も県人が行う)
	交通面で便利な徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタカー、レンタサイクル、バイクが気軽に借りられる環境整備
	平和な徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震(大規模災害)において、養護施設が少ない(全国ワースト)徳島は、大きな課題に直面するため、防災士の養成と里親制度を同時に進める
	働きやすい徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースやサテライトオフィスなどを、選べる職種を増やす ・都会と同じ仕事は同じ給料を支払う
	キャッシュレスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券などをデジタル化(地域通貨で地域の資金の循環、プレミアムの付与) ・公共交通機関で電子マネーを使えるように ・県民の不安・苦手感情を払拭する施策、消費者庁との連携 ・金融教育との連携 (事例)飛騨高山での「さるぼぼコイン」は高校生も使っており、高校生の行動にも影響を与えている
	人口が増え地域の賑わいが増える	<ul style="list-style-type: none"> ・出産時に給付金を支給(教育に使える、一歩踏み込んだ支援を) ・教育機関の充実
高校生 (南部)	教育機関の充実した徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDなど徳島が得意な分野の研究機関や大学をつくり強みを伸ばす
	他県と協力し合える徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・県民一人ひとりが徳島の魅力を再認識する ・自然を体験できるイベントを企画する
	防災対策ができていく徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と連携し、防災についての話し合いの機会を設ける ・企業と協力し防災食をつくる ・放置竹林を有効活用し、担架やパーティションなどをつくる ・那賀高校の森林クリエイティブ課との連携 ・防災訓練をしっかりと行う ・地震による液状化の対策を行う
	すべての人が安心して生活できる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で防犯対策の強化を行う ・防犯カメラを増やす ・地域のつながりを強化することで防犯対策を行う ・公共交通機関の充実 ・高齢者の運転免許返納者にバスやJRの無料券を配る ・あいさつ運動を行うことで地域の方とのつながりを強化する

高校生 (南部)	自然と共存する徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・県が環境に優しい乗り物の普及に取り組む (エコカーへの補助金、EV充電スポットを増やす) ・学校は環境教育を推進する ・企業はエコカーの導入、EV充電スポットの設置を行う ・県民は車の使用を控え、徒歩や自転車を活用 ・竹を有効活用した環境に優しい製品を使用する
	娯楽施設が少なくても楽しめる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアを楽しむ ・小学生や子どもたちに徳島を体験するイベントの参加してもらい、徳島を知ってもらう(学校から案内、SNSで発信)
	未来都市・徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい環境 ・日常の幸せを感じられる街づくり ・ドローン活用 ・インターネットの更なる活用(買い物、教育) ・技術開発、社会実験を徳島ですてもらう
	働く場所や進学先が多く、どの世代の人も住みやすい街	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の魅力を知ってもらうために自然を活かした体験等をPRする ・大手企業の誘致に取り組む ・公共交通機関の強化
	県外に誇れる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設を増やし、PRの強化を行う ・SOH(スーパーオンリワンスクール)での活動を増やし、高校生の意見を多くの人に知ってもらう ・国内に限らず、外国人にもSNSを利用して魅力を発信する ・目を引くような派手なイベントを開催して情報を発信する
	海外の人たちも来てもらえる徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサーによる情報発信 ・外国語表記やユニバーサルデザインをもっと増やす ・姉妹都市間で相互に行き来する
	伝統文化と近代化を融合した徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・阿波おどりやそば米雑炊など他県にはない大きな魅力を発信 ・郷土料理を調理実習で体験 ・地域ぐるみで調理方法を継いでいける組織をつくる ・藍染め、藍の料理などインフルエンサーによる情報発信
大学生 (南部)	子育てがしやすい徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童対策など、子育て制度を整える ・どんな制度があるかを前面に出す(情報発信) ・教員や保育士の養成で模擬授業など、1年生から広く受け入れる ・現場を知る機会をつくる(他県で実習する人も多い)
	地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・阿波おどりや寺・神社の祭りに多くの人が参加しやすい環境づくり
	わかりやすくシンプルで美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島駅前にのんびりできるたまり場がある ・移動しやすく、徳島をよく知る機会を与えて欲しい
	たくさんの方が帰る場所として持続し続けて欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーションで人の循環が生まれる ・出身地以外でも人のつながりがあれば、災害が起きても、ゼロにならず人の温かさが残る ・関係人口を増やし、絶えず人が訪れる
	徳島のことを好きと公言しても恥ずかしくない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の価値を見直し、ブランディングを強化 ・県外に行って、他地域のことも学び、徳島の良さを考える
	一日では足りないと思える遊び場所が欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメの博物館などがあればうれしい(来る度にコンテンツが変わる) ・一般受けする場所を増やす
	公共交通機関の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・土木業や交通事業者に働きかける ・バスの本数を増やし料金を県内で共通化する
	企業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・働ける環境作り ・テレワーク環境の整備
仕事があり、キャリア選択ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・(大)企業の誘致 ・大学生を活用し、大学生が地域のことを学ぶ ・様々な経験を持つ人と触れあい、キャリアについて家族と語る機会をつくる 	

大学生 (南部)	今ある徳島を活かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高で徳島の伝統を学ぶ機会をつくり、体験する ・学校の授業で体験し、大学生でも改めて体験できる機会をつくる
社会人 (南部)	仕事とプライベートが充実したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・6時間勤務、フレックス制、週休3日、副業など多様な働き方を採用 ・ワークライフバランス充実に先進的に取り組む企業を支援・認定し企業をPR ・まずは県が様々な制度に取り組む
	魅力的な仕事がある	<ul style="list-style-type: none"> ・学生時代から伝統工芸やモノづくりに触れる機会や時代に合った多様な仕事に出会える県であることを伝える課外学習等を取り入れる ・移住者など徳島の良さを実感している人に話を聞く機会をもつ ・伝統文化、林業、木工など仕事として通年で体験できるものを、県民、特に若者が知ることが重要 ・豊かな自然に触れるため、キャンプやサーフィン、ラフティングなどを教育に取り込む ・小学校から、今日のようなセッションを教育に取り込み、課題解決を考え、取り組むような授業を行う ・子どもが触れているモノを大人も同じように体験し良さを知る ・藍染めをするにも下積みが必要になると若者が入ってきにくいいため、授業に取り入れてもらうことをはじめ、企画する側、参加する側、受け入れる側の3者がよりオープンに ・県庁内や自治体内の情報共有をしっかりと
高校生 (西部)	結婚・出産しても安心して仕事が続けられる環境が整っている徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・男性が育児休暇を取れる仕組みをもっと有効活用する ・結婚・出産など気軽に相談できる窓口をつくる
	田舎でもすぐに買い物に行ける徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・県は、県民の相談窓口を作り、実行する体制づくりを行う ・県民は、SDGsに取り組むことで、自然を大切にしてい
	自然を生かしたエコな徳島 誰でも暮らしやすい、やさしい徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・県：テレワークやワーケーションの環境を整える ・企業：フレキシブルな働き方・サテライトオフィス、観光資源の開発・開拓、ICT化、流通システム ・県民：エコな暮らし地産地消・多様な人を受け入れる気持ち
	様々な文化施設や商業施設（ユニバーサルスタジオやディズニーランドなど）があり地域活性化した徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・遊園地、アスレチックなどレジャー施設を整備し、さらにアニメのイベントなどを企画する ・空き店舗が多くある商店街を復活させる
	公共交通機関が充実している徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の値段を下げる
	地域全体で防災対策が出来ている徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と一緒に防災マップを作成し、参加しなかった方にも共有 ・三世代で交流できる場をつくる
	<ul style="list-style-type: none"> ・良さを残しつつ交通が快適になり全国に注目される ・事件・事故が少なく活気あふれる県 	<ul style="list-style-type: none"> ・JRの本数を増やし、運賃も下げる ・県・学校・企業が連携し徳島の良さを発信 ・県外とのアクセスも増やしてほしい
	県民自身が徳島の魅力をよく知っており働きやすい場所にする	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の未来に希望があると地元の人に思ってもらえるような取組
	他の地域からの観光客や移住者が増加している徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の有効活用を検討する ・体験型観光を中心に経済を活性化させる ・公共交通機関の充実とともに、バリアフリー化を進める
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が増え魅力のある仕事が多い県 ・知名度が上がり徳島の良さが全国に伝わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校：子供たちに徳島を知ってもらおう。県外の取り組みも知ってもらおう ・県：イベントを通じて徳島をPR ・企業：会社の魅力をアピール ・県民：それぞれの市をPRし町おこしをしていく。インスタグラムなどを活用し若い人たちも市のいいところを発信

高校生 (西部)	自然豊かでおもてなしが出来る 徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の良さをSNSやメディアを利用して発信県外の人に知ってもらう(観光だけでなく福祉なども発信) ・県の発信をもっと魅力的に阿波踊りなど
大学生 (西部)	子育て世代が暮らしやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・こども(高校生まで)への支援 ・習い事、医療費(無償化)など、学校以外への補助を拡充
	誰もが住みやすい“まち”	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から企業を誘致 ・水道・電気料金を助成し、スタートアップを支援 ・ワークライフバランスの推進 ・育休・産休の取得をとりやすい環境の整備 ・遊休施設を企業・大学生などに呼びかけ、活用してもらう ・徳島駅前の活性化
	自然を生かした観光	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備 ・県と大学が連携し保育・建築など若者の力を活用 ・習い事、医療費無償化など、学校以外の部分に補助を拡充 ・学校で自然と触れあえる体験学習などの機会を増やす ・自然や科学などをもっと県内外にPRし観光に活用
社会人 (西部)	コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・人を中心に集める仕組み作り、利便性を持たせ強調する
	挑戦しやすい風土作り	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のアルバイトをもっと許容(大人との関わり、お金を稼ぐ経験)
	学生・子供が早く大人になりたいと思える社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジするためのきっかけ・後押しができる仕組みをつくる ・新しい仕事、働き方、可能性があるため、選択肢を提示してあげる ・若い人が仕事を創る仕組み作り
	子育てができる環境の整備を	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代へのアンケートを実施して、何が必要か、必要な場所は何かということを知る ・子育て支援をしている民間団体のPR強化
	若い方が自分で選択できる環境	<ul style="list-style-type: none"> ・大人と一緒に学ぶ環境を作ることで若者が選択できる。挑戦できる。 ・様々な職種の人との関わりをもつ機会をつくる ・若い人を信じて求めているアドバイスをしない
	サードプレイスがある町	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事する場所ということだけでなく、幅広い世代が活用いただけるようにいろんな書籍を置く ・エンタメ的な刺激、趣味に特化したお店が増えてほしい。交流施設での映画放映 ・精力的に活動している人への助成金をすることで、拠点の整備や活動の活性化につながる ・お一人様でも居心地のいい場所がほしい